

中部様式

令和 6 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会 (恵那市・中津川市)

平成20年3月21日 設置

令和 6 年 6 月 5 日 明知鉄道沿線地域公共交通計画 改訂
(計画期間：平成31年度～令和 8 年度)

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・ 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

【沿線地域の特性】

- ・ 恵那市・中津川市は、山間地が多くを占め、岐阜県東濃地域に位置している。
- ・ 恵那市の人口は46,102人、中津川市阿木地域の人口は1,924人（令和6年12月1日現在）

明知鉄道沿線地域公共交通計画 (計画期間：平成31年度～8年度)

【基本的な方針】

多くの担い手が連携し、
多くの方々が安心して暮らし、
おでかけできるまち

計画の目標



- 目標 1 公共交通を「支える」「活用する」
地域住民の活動促進
- 目標 2 持続可能な地域公共交通
ネットワークの形成
- 目標 3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく
自然に移動できる環境の整備

公共交通ネットワーク図



◆ 具体的な取組内容1 沿線地域住民の意識醸成・共有 ◆

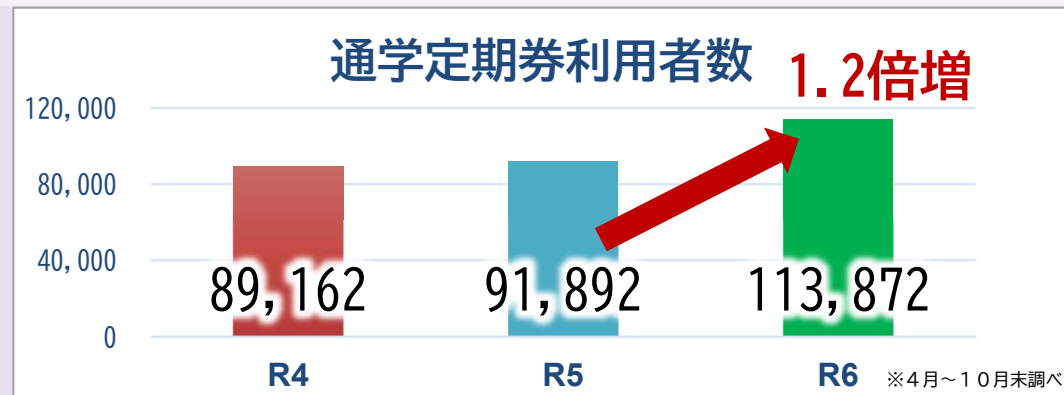
目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

【高校生の公共交通利用者増に向けた施策】

★明知鉄道通学支援NEW・・・R6.4からどの区間でも

定期券代が一か月5,000円に、通学定期購入者**前年比123%**（4月～10月末）※恵那市

★明知鉄道支援及びバス通学周知チラシを高校生に配布（周辺7高校）

★高校生向け通学**モデルコースチラシ**を**市内中学3年生**に配布（9月）

明知鉄道通学支援



バス通学PR



高校通学モデルコース

【モビリティマネジメントの推進】

★**バスの乗り方教室**を実施

○路線再編地区等

11回（明智・上矢作地区）

○イベントなど

5回（まちなか市、ENAFES、健幸フェスタ、明鉄90周年イベント）

★えーなワンコインパスポートの周知及び発行

（R6.11月末登録者135名：75歳以上102名/免許返納33名）



◆ 具体的な取組内容2 交通体系の整備・官民共創 ◆

目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

【バス路線の見直し】

地域と協議を重ね再編

〔再編内容：移動可視化データの活用〕

★明智地域 ※地域はフィーダー路線

<定時定路> R6.10月 運行系統を再編

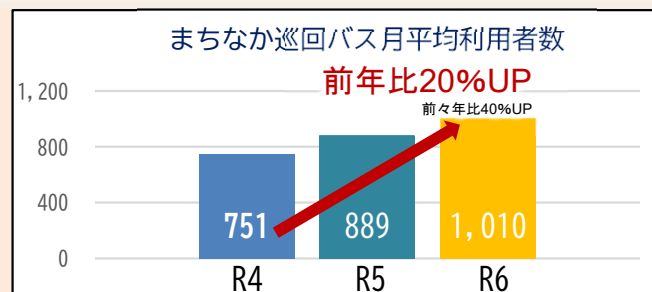
<デマンド> R6.10月 4地区を2地区とし毎日利用できるよう再編（以前は隔日運行）

★上矢作地域 ※地域はフィーダー路線

<定時定路> R6.3月 運行系統を再編

<デマンド> R6.3月 より利用しやすい運行内容に再編
旧：目的地→地域 地域→目的地（時間帯により一方向のみの運行）新：地域⇄目的地 と**双方向**の**移動が可能**R7.3月 地区により**隔日運行**だった運用を**毎日運行**に**再編**

★まちなか巡回バス

バス停の位置を今より便利で利用しやすい場所に移設するよう**地元と協議**R6.3月バス停移設 → 野畑1バス停利用者数 **前年比6.2倍**（月平均4.9→30.5人）（11月末現在）

◆ 具体的な取組内容3 移動環境の整備・周知 ◆

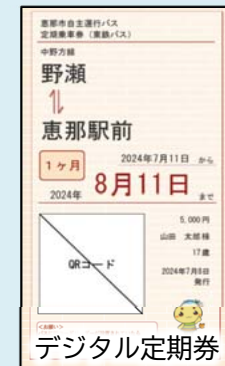
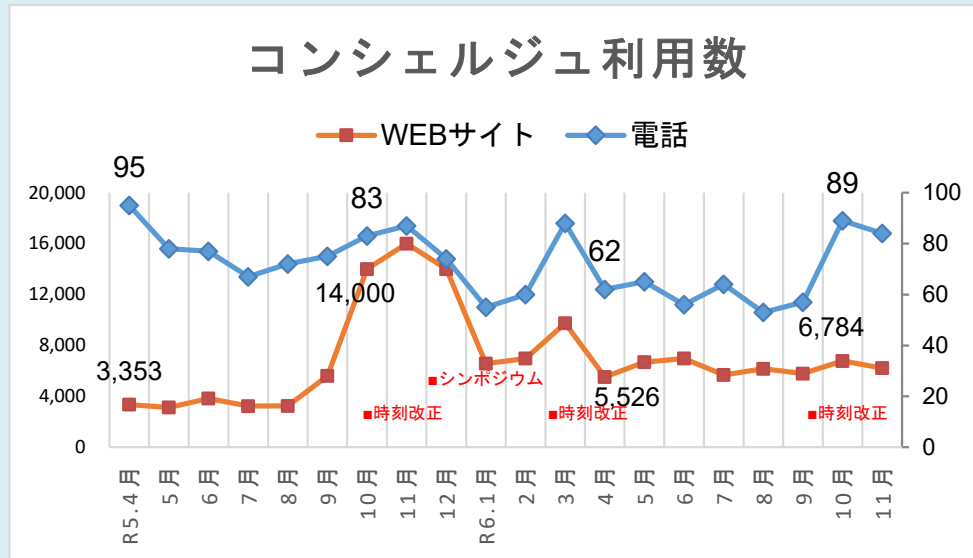
目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

【人とWEBによる「交通コンシェルジュ」の設置】

★R4年10月 「電話相談窓口」と「公共交通ポータルサイト」

の2本立てで移動に対するお困りごとを解決する公共交通総合案内所を開設

★R7.3月 交通コンシェルジュLINEリッチメニューをより利用しやすいデザインにリニューアル



【運賃のキャッシュレス化】＜公共交通ポータルサイト＞

★R7.3月NEW 自主運行バス（一部営業路線含む）のデジタル回数券・定期券・PayPayの運用を追加

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

6

地域公共交通計画における目標

アウトプット指標		H29実績		R5実績	R6実績		R8目標値	R6/目標
目標1 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	公共交通を「活用」する団体数	6	→	7 (R4実績)	9 (R5実績)	→	11	81%
	ボランティア運転手養成講座の参加者数/年	0	→	37 (R4実績)	9 (R5実績)	→	37	24%
目標2 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	公共交通などで、沿線4高校に通える中学校数	7	→	8	8	→	9	89%
	自主運行バス利用者 満足度/%	94.6	→	97.0	95.0	→	97.0	97%
目標3 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	観光による公共交通利用者数 (観光列車、日帰り旅コース) (4月～翌年3月締)	16,222	→	12,840 (R4実績)	11,395 (R5実績)	→	16,000	71%
	グリーン会員証の発売枚数 (4月～翌年3月締)	963	→	733 (R4実績)	693 (R5実績)	→	900	77%
	うち 上矢作地区(フィーダー)	24		20	14		30	46%
	明智地区(フィーダー)	260		205	219		260	84%
アウトカム指標		H29実績		R5実績	R6実績		R8目標値	R6/目標
1. 基幹路線（明知鉄道）の年間利用者数 (4月～翌年3月締)		380,889 定期外162,489 通勤定期14,040 通学定期204,360	→	272,087 定期外128,967 通勤定期10,990 通学定期132,130 (R4実績)	307,857 定期外157,627 通勤定期9,574 通学定期140,656 (R5実績)	→	367,000	84%
2. 広域幹線・幹線・市街地循環線の年間利用者数（前年10月～9月締）		220,117	→	104,661 (R5実績)	133,319 (R6実績)	→	114,469	116%
3. 地域路線の年間利用者数 (前年10月～9月締)		117,732 (達成度97%)	→	78,967 (R5実績)	59,296 (R6実績)	→	57,515	103%

※路線再編に伴い目標値を改正（R6.6）

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

7

			利用者数（単位：人）					収支率（目標値20%）			満足度（目標値97%）			自己評価
			R4 年度	R5 年度	R6 年度	R8 目標値	R6/目標	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	
全体 （営業路線除く）			137,641	115,703	115,365	110,883	104.0%	15.3%	10.4%	8.3%	95.1%	97.0%	95.0%	B ₂
自主 運行 バス	旧 恵 那 地 区	大井長島地域 （市街地地区）	19,154	19,807	15,106	14,530	104.0%	27.0%	12.9%	8.6%	95.5%	96.0%	100%	B ₂
		東野地域	732	697	1,257	1,114	112.8%	6.9%	6.5%	3.1%	100%	100%	100%	B ₁
		三郷地域	15,224	14,287	21,877	18,794	116.4%	19.1%	17.7%	15.6%	100%	100%	100%	B ₁
		武並地域	14,022	11,960	7,580	7,444	101.8%	28.0%	19.1%	7.2%	100%	100%	100%	B ₂
		笠置地域	14,658	10,979	11,048	10,108	109.3%	20.7%	16.2%	12.8%	100%	100%	100%	B ₁
		中野方地域	22,564	20,585	31,301	26,100	119.9%	35.8%	24.6%	13.7%	100%	100%	100%	B ₁
		飯地地域	5,271	4,693	2,218	2,424	91.5%	22.6%	10.9%	4.6%	90.5%	90.8%	100%	B ₂
	岩村地域		132	62	20	62	32.2%	11.1%	10.5%	10.2%	100%	100%	100%	B ₂
	山岡地域 （内数デマンド）		4,271 (629)	3,661 (582)	3,869 (485)	4,059 (582)	95.3%	5.8% (22.4%)	4.5% (13.9%)	5.5%	75.0%	80.0%	100%	A
	【フィーダー】 明智地域 上期 下期（内数デマンド）		20,328	9,178 (8,556 622 (120)	1,263 (362)	1,221 (289)	103.4%	21.5%	7.3% (4.5%)	2.2% (5.0%)	100%	100%	100%	B ₂
	串原地域		8,398	8,482	8,073	8,359	96.0%	6.0%	6.1%	7.3%	100%	100%	100%	B ₁
	【フィーダー】 上矢作地域 上期 下期（内数デマンド）		8,448	6,898 (3,800 3,098 (99)	7,041 (131)	7,106 (307)	99.1%	5.4%	3.9% (5.2%)	3.2% (9.1%)	80.0%	88.0%	67.0%	B ₁
有 償 運 送	阿木地域		2,606	2,356	2,597	2,356	110.2%	7.1%	6.1%	5.7%	100%	100%	100%	B ₁
	いいじ里山バス		1,211	1,372	1,624	1,624	100.0%	7.4%	4.0%	2.7%	100%	100%	100%	B ₁
	くしばす		622	686	491	491	100.0%	4.8%	5.9%	9.5%	100%	100%	100%	B ₁

評価基準

A：利用者が前年の1.01倍以上、収支率、満足度が目標値以上の場合

B₂：利用者及び収支率が前年を下回るが、満足度が80%以上の場合

B₁：利用者が前年の1.01倍以上、又は収支率が前年を越えた場合

C：利用者及び収支率が前年を下回り、満足度も80%以下の場合

(全体)

- ・公共交通全体の利用者数は下げ止まり傾向である。これは地域と連携した路線再編や運賃の見直しなどの利用促進による効果と考察する。

(基幹路線)

- ・明知鉄道の利用者数は、前年より**113%**と**増加傾向**であり、観光者の利用も増加している。合わせて恵那市の高校通学定期補助事業により、定期券利用者が前年比**120%**と**増加傾向**である。しかし、コロナ前の数値には及ばず、これは人口減少やライフスタイルの変化等が影響していると考えられる。今後もバスと連携し、**移動可視化データ**を活用することで、時刻改正や路線再編を行い公共交通を利用した高校通学が可能な中学校区を増やす等、高校生の通学支援策の継続により利用できる環境を継続的に整える必要がある。
- ・明知鉄道のグリーン会員証は、**地域協議会や民生委員協議会、壮健クラブ等での周知**を行っているが前年より減少していることから、継続的な周知が必要である。



(広域～地域路線)

- ・バス利用者数は目標値を達成した。これはR5.4月に大幅な路線再編や運賃統一を行った結果が大きく影響しているとする。伸び幅の大きかった**明智線（広域幹線 明智駅前～瑞浪駅前）**の利用者数は**前年比121%**と増加傾向にあり、これは運賃等の見直しにより定期券に移行したことが要因と考察する。
- ・**明智地区のデマンド（フィーダー）**について、運行方法の見直しにより、利便性が高くなり、利用者数が**前月比200%**と**増加傾向**で更なる利用増が期待される。（10月～11月調べ）
- ・**上矢作線（フィーダー）**について、少子化により**通学利用者自体の減少**もあるが、定期券利用促進等により利用者数を維持している。上矢作デマンド交通においては運行方法の見直しを行ったが、**利用したい日と運行日が合わない**などの要因もあり利用が伸び悩んでいる。このため**R7.3月に隔日運行を毎日運行とする再編**をする計画である。
- ・**まちなか巡回バス**について、運行開始から3年目を迎え、一般利用が徐々に浸透し、前年比**112%**と増加傾向にある。



目標1：公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進

(モビリティ・マネジメントの強化)

- ・ 乗り方教室（地域・学校・イベント）の継続開催
- ・ 高校生向けの公共交通利用促進PR活動
- ・ えーなワンコインパスポートの周知強化及び拡充（市内商店と連携）

目標2：持続可能な地域公共交通ネットワークの形成

(移動可視化)

- ・ 移動可視化データの分析に基づく、一体的な交通ネットワークの再編（鉄道・バス・シェアサイクル）
- ・ 共通乗車券の検討

目標3：域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

(当地域に適したMaaSの実現)

- ・ 恵那市交通コンシェルジュの周知強化
- ・ キャッシュレスの利用促進・・・デジタル回数券・定期券・PayPay
- ・ 各施設と連携した利用促進（スタンプラリー、クーポン）



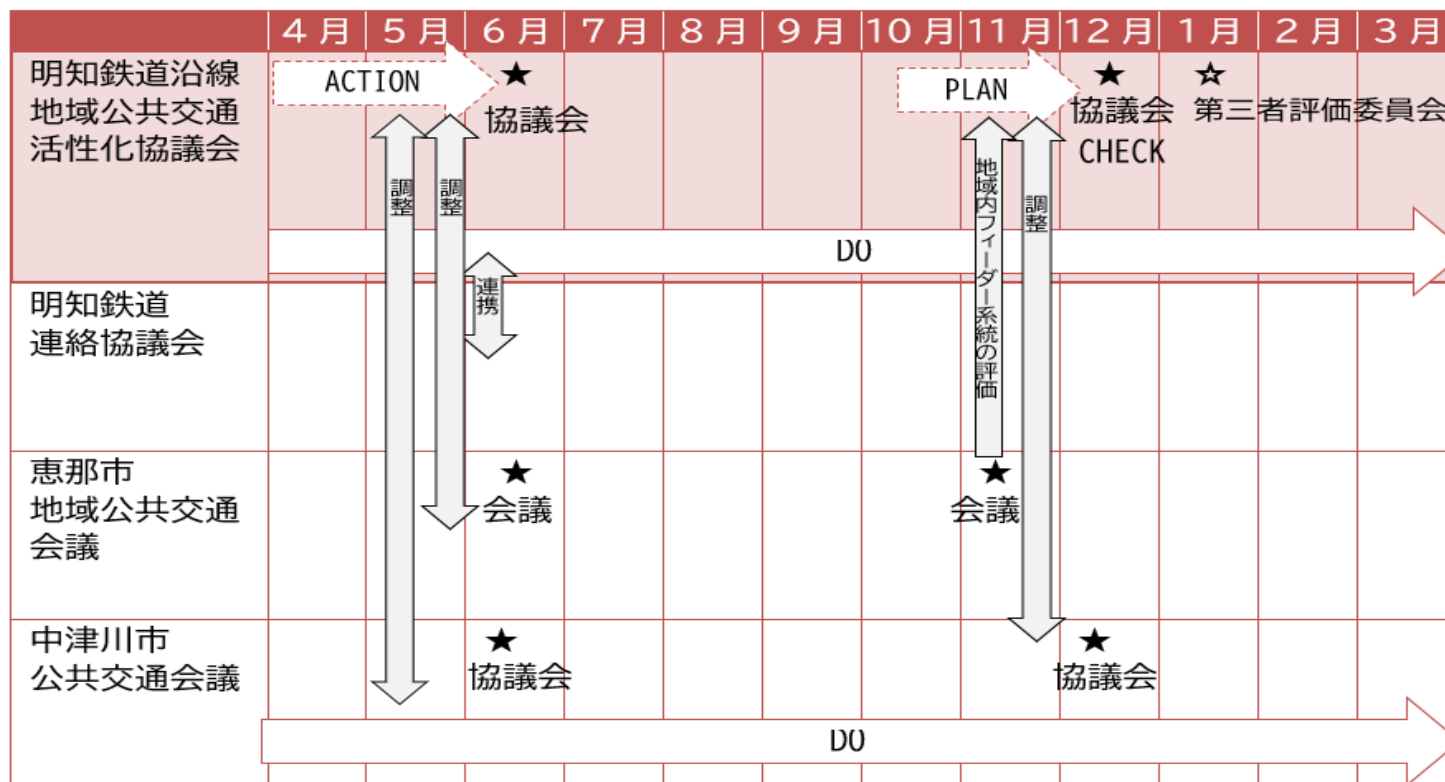
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	令和5年4月に大幅な路線再編を行っていることから、利用動向の変化や効果などの情報収集と分析に努められることを期待します。	利用者の意見要望以外に、コンシェルジュからの報告と提案、可視化データを加えて情報収集と分析を行い、明智まちなか線や上矢作線、まちなか巡回バスの路線再編を実施した。	明智地域や上矢作地域と同様に他地域においても、情報収集と分析した路線再編を実施する。
	今後の取組方針に沿い、地域の方々と連携しながら、移動可視化データの活用、交通モードや市域を跨いだ取組の検討・実施など、ニーズに応じた更なる取組が図られることを期待します。	利用者ニーズに応えるため路線再編時に地元と協議連携のうえ、再編を実施した。恵那市内バス共通定期券と回数券のキャッシュレス化を行った。	バスと明知鉄道データを活用して一体的なネットワークにつなげる。高校生の利用増に向けたキャッシュレス決済のPR及びキャンペーンを実施する。

※前回：令和6年3月21日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回	引き続きイベントの開催や企画乗車券の発行、交通コンシェルジュの周知など、利用促進に努めていただくことを期待します。	モビリティマネジメントの推進として、シンポジウムの開催、公共交通利用促進冊子の制作配布、バスの乗り方動画の配信を行った。また、冊子や動画を用いて乗り方教室や高齢者が集うサロン、小学生を対象に広く周知を行った。	これまでの利用促進に加えて、交通コンシェルジュからの意見を反映させることや新たな周知方法を加えるなど、更なる利用促進の充実を図る。
	次年度運行開始を予定している明智地域のバスについては、利用状況を確認し、継続的に見直しを行うことをご検討ください。	移動可視化データ、及びコンシェルジュ委託事業からの毎月の報告書を基に利用状況を把握し、運行委託事業者と毎月定例会を開き改善に向けた検討をしている。	地域や利用者からの意見、移動可視化データ、委託事業者からの提案を基に改善案を作成し、地域と一緒に検討を行う。
	令和5年度3月以降に予定しているわかりやすい運賃の仕組みの導入に向けては、住民や利用者の周知をしていただき、持続可能な交通ネットワークの構築につながることを期待します。	これまでの運賃は距離制や区間制と様々な体系で非常に分かりにくかったことから、分かりやすく利用しやすい運賃制度に見直しを行った。市広報やHP掲載に加えて、市議会への情報提供や報道発表、地域自治区への説明会、民生委員会や壮健クラブの会議で説明を行い周知徹底を図った。	住民や利用者への周知は継続することが重要であると考え、引き続きHPや広報誌、各種イベント等でのPRなど多様な手段により周知を図る。

※前々回：令和5年3月10日

計画の評価と検証 計画の評価・検証、改善策の検討は、毎年年度末・年度はじめに開催される明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会の場で実施。 具体的には、計画の目標で定めた成果指標だけでなく、それを実現するための「路線単位での評価」についても確認を行う。 目標値が達成できていない場合は、その要因を分析し、改善策を検討するPDCAサイクル（計画→実行→評価→改善）により実施する。



【協議会の実施状況】

第49回協議会（令和6年度第1回）令和6年6月5日

- | | |
|---|--|
| <p>主な議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度事業報告並びに収支決算報告 ・ 公共交通計画の改訂 ・ 明知鉄道沿線地域公共交通計画 別紙 地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度事業計画（案）並びに予算（案） ・ 明知鉄道生活交通改善事業計画 |
|---|--|

第50回協議会（令和6年度第2回）令和7年1月8日

- 主な議題
- ・ 地域公共交通確保維持改善事業評価
 - ・ 令和7年度活動方針（案）

中運交企第163号
令和7年3月27日

明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会
会長 伊藤 豊 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和5・6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・通学支援として、令和6年4月からいずれの区間においても明知鉄道・バスの1ヶ月通学定期券の購入費用を定額にする補助を行い、定期券購入者が前年と比較して123%増となったことを評価します。
- ・上矢作地域において、移動可視化データを活用し定時定路線の再編、またデマンド交通については時間帯により一方向のみの運行から地域と目的地の双方向の移動を可能としたことを確認しました。
- ・イベントや路線再編地区等でバスの乗り方教室を開催し、利用促進に向けて努められたことを確認しました。

期待する取組

- ・バスの乗り方教室を継続して実施し、幅広い年齢層に公共交通を周知し、利用促進に繋がるようPR活動されることを期待します。
- ・移動可視化データを活用され、引き続き交通ネットワークの再編に努めることを期待します。
- ・公共交通を利用されるすべての方が利用しやすいように、デジタル回数券や定期券等の導入を検討されることを期待します。
- ・市内商店と連携した「えーなワンコインパスポート」の周知強化に向けて、地域との連携、利用促進に向けて努められることを期待します。
- ・地域間幹線系統である明智線について、引き続き、輸送量等現状の把握に努めるとともに、岐阜県、瑞浪市、運行事業者等関係者と連携して更なる利用促進を図るよう期待します。

2.【Do】目標達成に向けた取り組み状況

◆ 目標達成のための事業内容 ◆

●・・・具体的取組有り

目標	施策	事業	R6達成状況	R6取組状況
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1.観光列車やイベントでの市民による活動	○	鉄道の乗客を園児や地元団体がお出迎え
		2.地域イベントと連携した公共交通の活用	○	JRさわやかウォーキング、FDG、大正村フォトログ、みのじのみのり祭り、まちなか市、ENAFES、ウィメンズラリー等と連携
		3.SLの復元を通じた地域づくり	○	SL乗車体験(年5回/287名参加)、ふれあいイベント152名参加、SLファンクラブ加入促進、SL復元検討委員会での調査検討(条件付きでSL復元可)
		4.待合時間を有効活用できる結節点	○	令和5年7月より商業施設2Fに「恵那未来キャンパス」開設。20時まで利用可能
	2.公共交通を「支える」市民の活動促進	1.明知鉄道が有するさまざまな価値の発信	○	明知鉄道連絡協議会、交通会議にて情報発信、フォトコンテスト駅舎掲示、開業90周年写真展の開催
		2.沿線環境の整備	○	地域住民による景観整備・駅舎花壇の手入、阿木高、恵那農業高生による駅舎装飾
		3.収入源の拡大	●	グリーン会員証、明知鉄道1日乗車券(市内バス無料)の販売(企画切符:栗型・うちわ切符・WRC切符)、明知鉄道定期代補助制度の創出
		4.モビリティマネジメントの推進	●	公共交通シンポジウムの開催準備(R7.2.16)、バス乗り方教室の開催、ワンコインパスポートの発行、高校生向け通学モデルコース・定期券利用促進チラシの作成配布、食堂車の運行、バス時刻路線マップの作成配布、小旅動画の作成配信、壮健クラブへのワンコインバス周知
	3.運転手確保に向けた取り組み	1.交通事業者との連携による募集活動	○	中津川・恵那おしごとフェア2024への参加(3社)、事業者によるPR
		2.資格取得の奨励策の調査・検討	△	現状把握
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.恵那駅周辺での循環線の新設	●	まちなか巡回バス(地元要望によるバス停移設)、シェアサイクルのステーション拡充
		2.バス路線の見直し	●	移動可視化データを活用した旧恵那地区、まちなか巡回バスや、デマンド運行内容の改正(上矢作地区、明智地区)、新型車両の明知鉄道カラーのラッピング
		3.明知鉄道の1時間1本化	○	準パターンダイヤ一部設定
	2.快適な公共交通利用環境の整備	1.施設の更新	○	鉄道施設の整備、バス車両の更新(1両)
		2.P&R、サイクルトレインの推進	○	サイクルトレインの実施(9人)R6.9開始
		3.鉄道・バス共通1日乗車券の発売	△	明知鉄道1日乗車券(市内バス無料)の販売 今後鉄道も含めて検討
	3.関係者との連携強化	1.恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進	○	恵那峡線、大井町東・西線を地域公共交通会議の協議路線とし今後一体的な利用促進を実施する
		2.隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実	○	令和5年度より明智線を維持するため、東濃鉄道・恵那市・瑞浪市で協定締結
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1.当地域に適したMaaSの実現	1.運賃のキャッシュレス化	●	1日乗車券のキャッシュレス化をR5.3月に開始、自主運行バスのデジタル回数券及び定期券PayPayの導入(R7年3月導入)、東濃鉄道デジタル回数券の実施
		2.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」	●	恵那市交通コンシェルジュ(人・WEB)をR4.10月から運用開。WEBサイトのデザイン変更及び機能の拡充、LINEメニューの変更
		3.日帰り旅コースの設置・運用	○	市交通コンシェルジュ内で公共交通を利用した「小旅」コースを設定(4本拡充)
		4.定額制乗り放題運賃・年間パスポート	○	市内バス1日乗車券をR5.3月発売。ワンコインパスポートの発売
		5.モードを跨いだ運賃設定	○	市自主運行バスと東濃鉄道営業路線の運賃の統一をR5.3月に開始
		6.移動データの取得	○	AI画像認識技術で映像を数値に変換した移動データの可視化を導入
	2.新たな技術を活用した付加価値の向上	1.自動運転の導入推進	○	自動運転実証実験に向けたルートの検討及び自動運転バス体験試乗会の実施
		2.EV車両の導入推進	○	バス事業者によるEVバス試乗会、イベント時のc+podの試乗会、自動運転バス体験試乗会の実施
	3.バリアフリー化を通じたサービスアップ(現状維持から発展へ)	1.駅舎などのバリアフリー化	✕	未検討
		2.ボランティア車掌の創設	✕	未検討
	4.観光列車の推進	3.外国語案内・バス系統番号の表示	○	コンシェルジュサイト内一部外国語対応。バス系統番号を全バス車両に設置
		1.観光列車と広報・周知の充実 2.観光列車やイベントでの市民による活動(再掲)	○	イベント時における観光列車の周知 事業1-1-1